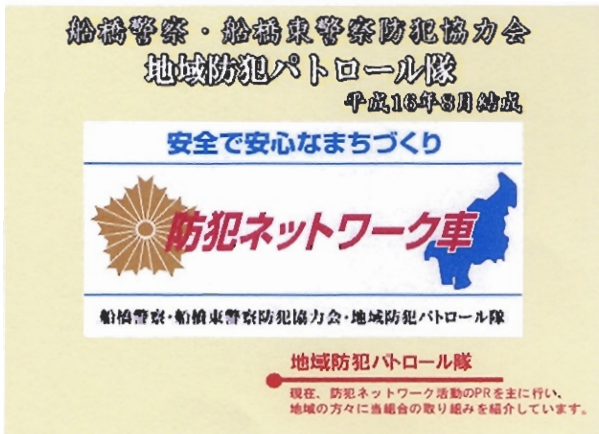


防犯ネットワーク

ここ数年、社会問題にまで発展している抜き取り行為に頭を悩まされている当組合は防犯委員会を設立し、早朝、深夜パトロールや、各地区説明会等での呼びかけに取り組んできた。その中、市民・警察に協力を要請するだけでなく組合として地域の防犯に役立とうと、市民・警察・組合で地域防犯パトロール隊が結成された。



活動内容

- 組合全車両が無線者なので事件、事故の第一通報の援助、被害者救助の協力をする。
- 情報提供を月一回、組合より警察に報告。
- 警察、地域住民、組合と防犯活動情報をネットワークする。
- 組合員の防犯に関する意識を高める。
- 車両に『防犯ネットワーク車』のマグネットを貼って走り啓発や犯罪を阻止する。
- 組合の参加するイベントで防犯活動を紹介し、自主防犯の啓蒙活動を行う。

現在、警察からは地域安全ニュースが頻繁に送られ、それをその地区説明会等で注意を呼びかけている。また、当組合イベント等でも啓蒙活動を行っている。ネットワークを広げていく中で、社団法人船橋市清美公社も当組合のデザインしたステッカーを車両に貼り、市内を走行している。今後まだまだネットワークを広げていきたい。

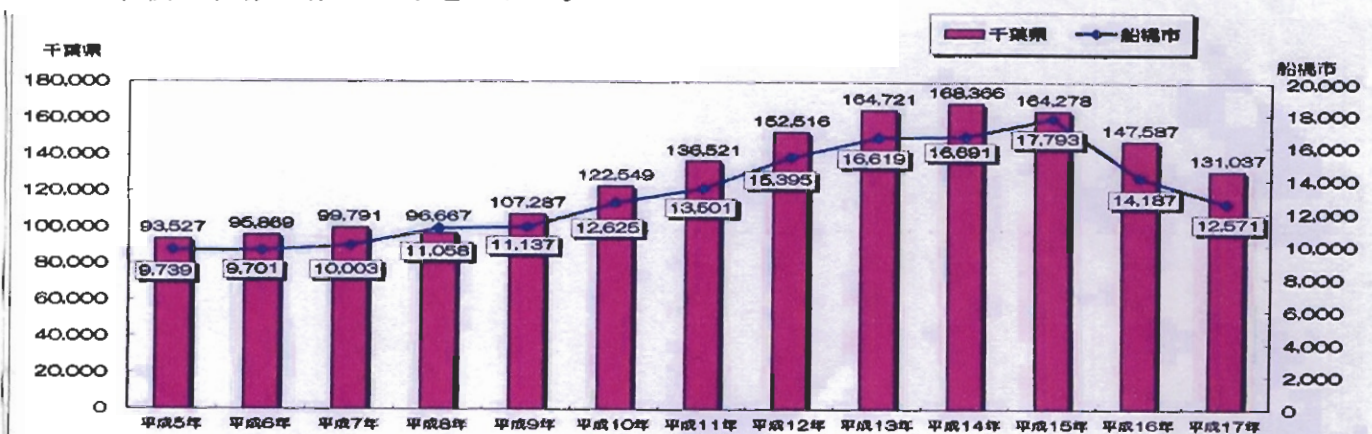


(有価物回収車)



(船橋市清美公社車両)

地域全体が防犯に対する意識が高まったせいか、下のグラフでわかるように平成15年をピークに犯罪件数は減ってきている。今後ますます、地域防犯パトロールの活発化やネットワークの広がりなどで、防犯件数は減ると予想される。



刑法犯認知件数の推移

資料提供：千葉県警察本部

※平成17年～18年8月現在、窃盗犯罪(空き巣・車上狙いなど)は、約900件減っている。